



操作入カスナップOFF

# スマートグラス・VRゴーグルを快適に！「うっかり誤操作」を防ぐ新技術



## なぜこの技術が必要なの？ (利用シーン)



### 「考えごと」中の誤作動を防ぐ

VRゴーグル使用中に頭に手を添えても、ジェスチャーとして認識されません。



### 画面表示は「そのまま」維持

従来のスマホ通話時のように画面が消えず、映像を見ながら操作のみ制限できます。

## 賢く防ぐ！一時停止の仕組み



### 近接センサーで距離を監視

センサーが指や手の接近を常にチェックしています。

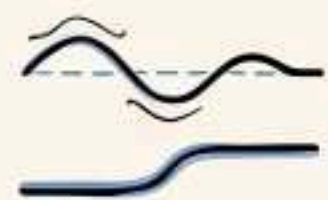


近接センサー



### 「少しの間」の継続でオフ

500ms (0.5秒) など、一定時間近づいた時だけ入力を無効化します。



### ヒステリシス処理で安定

センサーの小さなブレで、オンオフがガタガタ切り替わるのを防ぎます。

## 操作入力が切り替わる判定条件の例

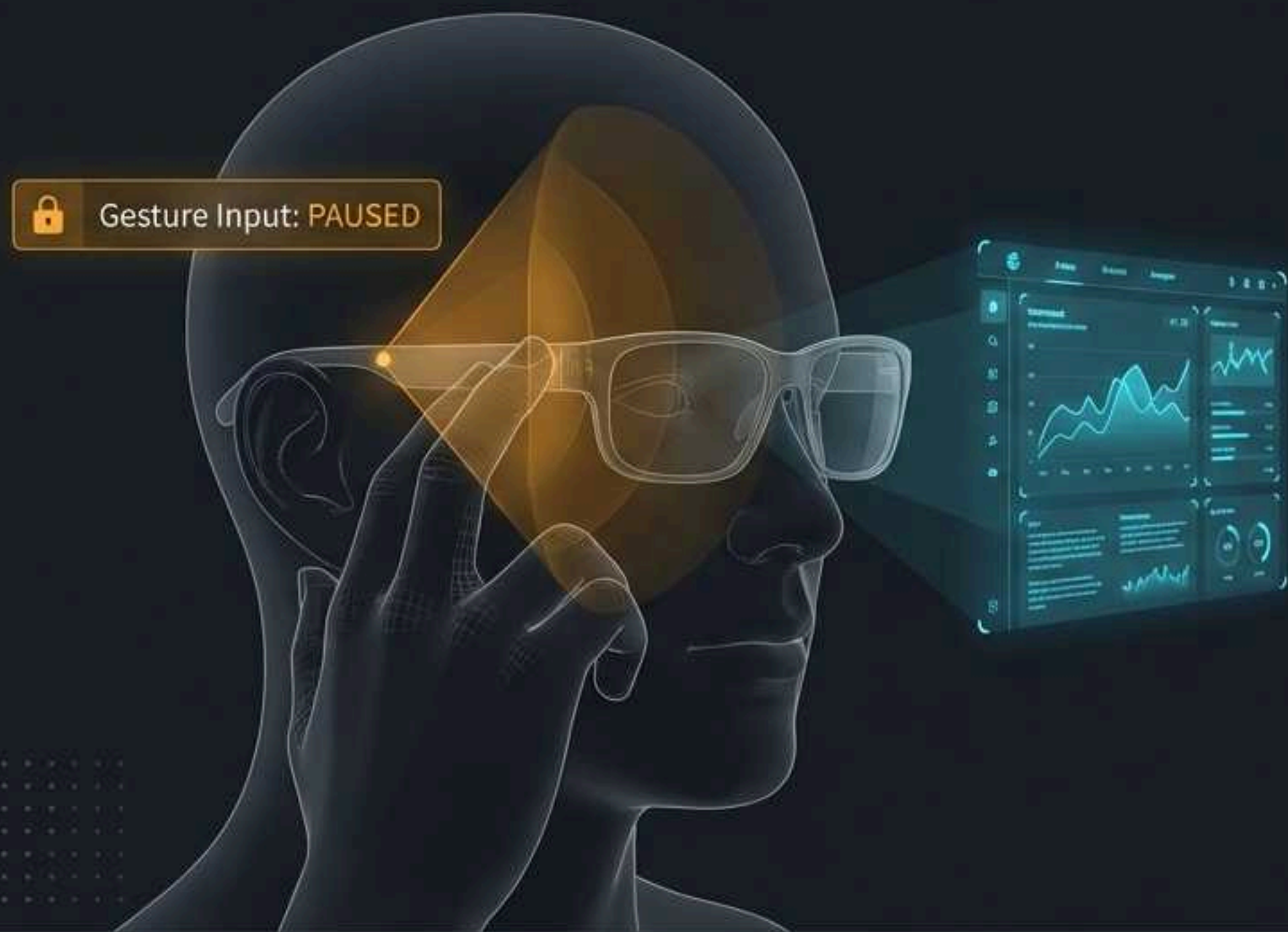
状態	判定条件	結果
	閾値以下が一定時間 (例:0.5秒) 継続	入力を無効化 (画面はON)
	復帰用の閾値を超える	入力を自動で再開

## ユースケース 01：スマートフォン（地図アプリ）

- シーン: 画面の地図を指差しながら、他者とルートを確認する場面。
- 動作: 赤外線近接センサーが指の滞留（500ms以上）を検知。
- 結果: 画面表示（地図）は一切暗くならず、指先が画面に触れてしまっても予期せぬスクロールやピンチ操作が発動しません。



## ユースケース 02：スマートグラス・ARデバイス



- **シーン:** 作業中や思考中、無意識に頭やこめかみに手を当てる場面。
- **動作:** フレーム部に搭載されたセンサーが手の接近を検知。
- **結果:** 視界のARオーバーレイ表示を継続したまま、意図しないジェスチャー認識による誤入力のみを確実にブロックします。

## ユースケース 03：VRゴーグル・空間UI

- **シーン:** 没入体験中、ゴーグルの位置ずれを直すために本体に触れる場面。
- **動作:** ゴーグル表面の近接センサーが手の接近を検知し、空間操作入力を一時停止。
- **結果:** 仮想空間の映像（視界）を暗転させることなく、位置調整時の誤ったUIクリックやオブジェクト操作を防止します。

